

空き地等の利活用を促進する総合マッチングプラットフォームの構築 (空き家等利活用支援協議会)

● 空き地等の利活用に向けて必要な情報(不動産情報だけではなく、地域情報、就業や創業に関する情報等)について一元的かつ総合的に集約・発信するプラットフォームを構築

背景・課題

空き地等の利活用を進める上で必要な情報(空き地等の基本情報、地域情報、就業や創業に関する情報等)について、特に地域外に向けた一元的な発信が行われておらず、空き地等の利活用の阻害要因となっていると考えられる。

調査目的

空き地等の利活用に必要な情報を総合的に集約・発信し、マッチングを促進するプラットフォームを構築することで空き地等の利活用を促進することを目的とする。

主な事業内容・スキーム

	構成団体名等	役割
空き家等利活用支援協議会	①(株)タス ②東邦銀行 ③ジブハウス ④フューチャーリンクネットワーク ⑤朝日航洋	①企画推進等 ②融資・保険情報取りまとめ ③プラットフォーム仕様検討 ④地域情報取りまとめ、プラットフォームプロバイダー ⑤不動産情報/リンク仕様検討
福島市	開発建築指導課	空き地・空き家対策担当部署
	政策調整課	地方創生担当部署(庁内横断ワーキンググループ事務局)

モデル調査の成果

既存の民間プラットフォームを活用することで、低期間・低予算で開発・運用を実現。モデル調査終了後も自立継続できる体制を構築した。また、プラットフォームのコンテンツ検討過程において、行政の複数部門の職員が参画することで、総合的な地域経済活性化対策を立案する体制づくりが強化されたと考えられる。

来年度はマッチングプラットフォームのコンテンツの拡充を行いながら、効果検証を行いつつ、本年度の成果を福島市周辺の他自治体へ紹介し、周辺自治体と連携した広域展開の準備を行う。また「関係連絡所」として福島市で活動する様々なコミュニティを取り上げることで、活動人口を増加させることで空き地等の利活用を行う団体の掘り起こしも行いたいと考えている。



プラットフォーム設計イメージ



プラットフォームページ

<http://fukushima.mypl.net/>

①プラットフォーム及びコンテンツの検討

・空き地等の利活用に必要な情報(空き地等の基本情報、地域情報、就業や創業に関する情報、融資・保険情報等)を総合的に集約・発信し、マッチングを促進するプラットフォームを構築。構築にあたっては、効果・経済性・継続性・将来性等を総合的に考慮し、既存の民間プラットフォームを活用。

②各種自治体施策との連携の検討

・福島市の複数部門が①の検討に参画することで、空き地対策や移住定住対策、就職支援対策等を組み合わせた、総合的な地域経済活性化対策立案の下地作りを図った。